

式 辞

令和6年度がスタートしました。今日から、皆さんは、1学年ずつ進級しました。進級おめでとうございます。

一昨年秋、松山市に住む方から学校に連絡がありました。亡くなった祖父が揮毫した書が東予高校に残っているかもしれない。今も学校のどこかにありますか、というお問合せでした。聞けば、壬生川工業高校時代のお話とのこと。本校は壬生川工業高校から東予工業高校を経て、東予高校へと変遷を遂げてきた上、13年前の本館建て替えの際に、古いものをずいぶん処分したと聞いています。何より校内を見回してみても、書など飾ってあったかなと首をかしげていたところ、見つかりました。探していた作品は、今皆さんがいる体育館の正面の左右に掲げられた校訓の額でした。お孫さんに当たる方が大変喜ばれて、学校を訪ねていらして額を写真に収められました。その際に、この「創意」「勤勉」という校訓は、工業高校の生徒にとって必要な資質ですねと褒めてくださいました。校訓というのは生徒として学校の中にいるときはあまり意識することはないけれど、大人になってから見ると実の的を射たものであるとおっしゃっていました。創意とは、知識や技術を身に付け、新しい工夫に努めること。勤勉とは自ら進んで働き、根気強く努力すること。工業高校の生徒として、自分の学ぶ専門性に誇りを持って、創意工夫に努め、根気強く、日々励んでください。なお、書道の作品として見たときに、「創意」を淡墨で、「勤勉」を濃墨で書いてあることもポイントなのだそうです。

以上、新年度からの皆さんの一層の活躍を期待して、令和6年度第1学期始業式の式辞といたします。

令和6年4月8日

愛媛県立東予高等学校長 渡邊 琴子